

団体名	マームのキッチンガーデン		
団体の所在地	伊丹市	代表者名	八尾 恵美子

1. 事業名	地球温暖化防止策を考えるⅡ「子どもが描く畑のエコハウスづくり」		
2. 実施期間	平成22年4月～平成23年3月		
3. 主な実施場所	子ども自然農園・ハーブテラスアップルミントのフィールド・伊丹市民まちづくりプラザ		
4. 活動形態	・実践活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府立大学教授の緑のカーテン講演に参加(3月 大人4名) ・エコハウスの設計図作成、骨格作り、種まき、定植(4月～6月 大人10名 子供9名) ・エコハウスのテント作り。講師を招き玉ねぎ染(7月 大人16名 子供19名) ・ // 藍染(8月 大人12名 子供11名) ・ゴーヤを使ったクッキング(9月 大人8名 子供8名) ・エコハウスの補強、整備(10月～12月 大人10名 子供9名) ・市民まちづくりプラザにての活動報告発表会下準備(1月～2月 大人10名 子供9名) ・市民まちづくりプラザにて活動報告発表会と「山ぶどうのつる遊び」のワークショップ(3月大人18名子供18名) 		
6. 成果・反響・反省点等	<p>「緑のカーテン」のエコハウスづくりを通して、温暖化防止策が各自の自宅でも実施できた。また、廃棄していた玉ねぎの皮で染色をしたり、「緑のカーテン」では野菜の栽培→収穫→食すということで、自然と人とのつながりを感じ、学ぶ事ができた。しかし、天候不順のため、湿度調整に失敗し、ゴーヤの生育が悪かった。アサガオは、下方も繁らせるため早くからつるを誘引した方がよかった。</p> <p>本年度の経験を生かし、来年度は「緑のカーテン」の混植に挑戦したい。</p>		
7. 成果物	エコハウス・テント 無農薬野菜		
8. 活動写真 説明	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>① エコハウス作り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 活動報告発表会と ワークショップ</p> </div> </div>		